



2021年11月4日
東日本旅客鉄道株式会社
JR東日本スタートアップ株式会社

～JR東日本スタートアッププログラム 2021 の採択企業について～

13 件の提案を採択、DEMO DAY（発表会）で“スタートアップ大賞”を決定します！

- 東日本旅客鉄道株式会社（代表取締役社長：深澤祐二、以下「JR 東日本」）と JR 東日本スタートアップ株式会社（代表取締役社長：柴田裕）は、ベンチャー企業や優れた事業アイデアを有する方々との協業によるビジネス創造活動「JR 東日本スタートアッププログラム」を進めてきました。
- 5 回目となる今回はさらなるオープンイノベーションを推進するため、「地域共創」「デジタル共創」「地球共創（SDGs）」の3つをテーマに掲げ、未来を見据えた協業をベンチャー企業の方々と進めてまいります。
- 2021 年 4 月から参加を募り、合計 154 件の提案の中から 13 件を採択しました。
- 採択した提案および協業内容の DEMO DAY（発表会）を開催し、優れた提案に対して総合グランプリの「スタートアップ大賞」、「優秀賞」を決定します。採択企業は JR 東日本グループと協業し、順次テストマーケティングを行ってまいります。

1. 「JR 東日本スタートアッププログラム」とは

ベンチャー企業や様々なアイデアを有する方々から、駅や鉄道、グループ事業の経営資源や情報資産を活用したビジネス・サービスの提案を募り、ブラッシュアップを経て実現していくプログラムです。2017 年度に初めて開催し、これまでに計 81 件の提案を採択。鉄道事業や IT 事業など幅広い分野の実証実験を行い、一部の取組みは実用化にいたりしました。なお、内閣府主催の 2018 年度第 1 回日本オープンイノベーション大賞において、経済産業大臣賞を受賞、2020 年度第 3 回同賞において、環境大臣賞を受賞しました。

2. 採択企業

自社の製品・サービスまたはプロトタイプを有する、概ね起業 10 年以内の企業を対象に、年度内にテストマーケティングを実施することを目指します。また、起業または起業後間もない方についても JR 東日本グループにおける事業アイデアの採用や当社グループの支援のもと事業の具体化を検討していきます。応募期間中に 154 件のご提案をいただき、書類審査とプレゼン審査を経て、協業内容を検討してきました。その結果、「地域共創」「デジタル共創」「地球共創（SDGs）」のテーマ提案を含む 13 社を採択し、年度内にテストマーケティングを行います。

【採択企業一覧】

ウォールシェア WALLSHARE株式会社 ●	ミーチュー株式会社 ●	ヤドカリ YADOKARI株式会社 ●
株式会社カミナシ ●	キューバス Cuebus株式会社 ●	ニーマルナ 207株式会社 ●
株式会社フトラクション ●	メトロウエザー株式会社 ●	モード MODE, Inc ●
株式会社レボーン ●		
株式会社ARK ●	株式会社PETOKOTO ●	株式会社Magic Shields ●

- 「地域共創」・・・教育やヘルスケア領域、観光・1次産業をはじめとした地域資源の多様な活用など、沿線生活における駅などの資産の新たな価値創造
- 「デジタル共創」・・・MaaS などによる新しい旅、Suica をはじめとしたデータ資産の活用、AI/ロボティクスによる生産性向上など、リアル×デジタルのくらしづくり
- 「地球共創（SDGs）」・・・カーボンニュートラル、エネルギー、サーキュラーエコノミーなど、持続可能社会実現への挑戦

3. DEMO DAY (発表会) について

審査により採択された 13 件の提案の中から、社外審査員を交えてスタートアップ大賞、優秀賞を決定します。

なお、受賞企業および受賞者につきましては、後日 HP(<https://jrestartup.co.jp/program/>)にてお知らせします。

※DEMO DAY の様子はオンライン配信します。

(1) 配信日

2021 年 12 月 8 日 (水)

視聴申し込み URL : <https://jresup2021.peatix.com/>

(2) 審査員 (50 音順)

株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ	代表パートナー	仮屋 聡一氏
守屋実事務所	代表	守屋 実氏
株式会社コラボラボ (女性社長.net 企画運営)	代表取締役	横田 響子氏
東日本旅客鉄道株式会社	代表取締役副社長事業創造本部長	喜勢 陽一
	代表取締役副社長技術イノベーション推進本部長	伊勢 勝巳
	常務取締役総合企画本部長	坂井 究



仮屋 聡一
株式会社グロービス・キャピタル・パートナーズ
代表パートナー

グロービス・キャピタル・パートナーズでは世界各国の機関投資家などより累計 1000 億円超の資金を預かり、日本における有望ベンチャー企業へ、成長のために必要となる「ヒト (人材)」「カネ (資金)」「チエ (経営ノウハウ)」の総合的な支援を行っている。



守屋 実
守屋実事務所 代表

新規事業立ち上げのプロフェッショナル。株式会社ミスミを経て、株式会社エムアウトの創業に参画、2010 年、守屋実事務所を設立、ラクスル株式会社、ケアプロ株式会社の立ち上げに参画、副社長を歴任後、ブティックス株式会社、株式会社セルムなどの経営に参画する。



横田 響子
株式会社コラボラボ
(女性社長.net 企画運営)
代表取締役

3,000 社を超える女性社長コミュニティをサポートしながら女性社長を紹介する「女性社長.net」、女性社長 300 名が集結するイベント「J300」を企画運営。大手企業を中心とした新規事業の立ち上げ、販促支援など多数プロジェクトを運営。

JR 東日本スタートアップ株式会社とは

JR 東日本スタートアップ株式会社は、JR 東日本グループとスタートアップ企業との共創を推進するコーポレートベンチャーキャピタルです。

所在地：東京都港区高輪 2-21-42 TokyoYard Building 7F

代表者：代表取締役社長 柴田 裕

株主：東日本旅客鉄道株式会社 (100%)

設立日：2018 年 2 月 20 日

出資枠：50 億円

連絡先：E-mail info@jrestartup.co.jp


ホームページ <https://jrestartup.co.jp>




あなたの夢を未来へつなぐ
『明日』創造ステーション

【テストマーケティング詳細】


1. WALL SHARE 株式会社（代表取締役：川添 孝信）

	JR 沿線の空き壁を活用したミューラルアートによる地域活性化 JR 沿線の空き壁、アーティストと協賛企業を繋ぎ、ミューラルアートを描くことで、沿線活性化を図り、地域との継続的な関係を構築します。
	実施箇所：首都圏エリア
	実施期間：2022 年 1 月～


2. ミーチャー株式会社（代表取締役：小泉 拓学）

	ファンコミュニティプラットフォームを活用した鉄道ファンコミュニティの形成 ファンコミュニティプラットフォーム「Mechu（ミーチャー）」内で、鉄道や地域の魅力発信や限定コンテンツの提供、ファンの声を反映したイベント作りなど、ファンとともにプロセスエコノミーを形成します。
	実施箇所：オンライン
	実施期間：2021 年 11 月～


3. YADOKARI 株式会社（代表取締役 CEO：さわだいっせい、代表取締役 COO：ウエスギセイタ）

	可動産の活用による無人駅を拠点とした「動く旅」による新たな観光体験の創出 可動産（モビリティ）を活用して、ロケーションが魅力的な無人駅での滞在と地域を巡ることで、その時々に合わせて自由な旅のスタイルを体験することができる「動く旅」の世界観を構築し、シームレスな新しい観光体験の創出を図ります。
	実施箇所：根府川駅
	実施期間：2022 年 3 月～


4. 株式会社カミナシ（代表取締役：諸岡 裕人）

	ノーコードツールを活用した鉄道現場の身の丈 DX ノーコードツール「カミナシ」を活用した車両修繕における現場主導の DX に取り組み、チェックリストや帳票のデジタル化だけでなく、業務プロセス全体の DX を目指します。
	実施箇所：東京総合車両センター
	実施期間：2021 年 12 月～


5. Cuebus 株式会社（代表取締役：大久保 勝広）

	次世代ロボット倉庫を活用した駅ナカのスペース高効率化 省電力かつフレキシブルに設置/移動が可能な次世代ロボット倉庫「Cuebus」を活用し、駅ナカの物品管理とピッキング業務を自動化することによる生産性向上とあらゆる遊休スペースを物流空間へと高効率化するモデルを構築します。
	実施箇所：首都圏駅
	実施期間：2021 年 12 月～


6. 207 株式会社（代表取締役：高柳 慎也）

	駅を物流拠点としたラストワンマイル配送ビジネス 駅の遊休スペースを物流拠点化し、宅配荷物と駅ナカ・駅ビル商材の個人宅向け荷物をギグワーカーの配送員が共同配送することで、駅を起点にラストワンマイル配送の社会的課題の解決と遊休スペース利活用を行い、新たな収益モデルを構築します。
	実施箇所：品川駅
	実施期間：2021年11月～


7. 株式会社フォトラクション（代表取締役：中島 貴春）

	建設特化型 AI 技術による紙図面のデジタル化および活用 これまで紙で管理されていた鉄道施設の図面を AI により CAD および BIM に変換、数量算出の効率化などによる業務の生産性向上を含め、建設 DX の実現を目指します。
	実施箇所：東京工事事務所
	実施期間：2021年11月～


8. メトロウエザー株式会社（代表取締役：古本 淳一）

	小型・高性能ドップラーライダーによる支障物検知 小型かつ雨天時でも計測可能な高性能ドップラーライダーにより、遠方の線路内支障物を検知、線路内作業の安全性向上および将来的な自動運転技術への導入を目指します。
	実施箇所：首都圏エリア在来線
	実施期間：2022年1月～


9. MODE, Inc（CEO：上田 学）

	IoT エコシステムを活用したデジタルツイン環境の構築 様々なセンサーなどからのデータ取得を可能にする IoT エコシステム技術により、建設現場のデジタルツイン環境を構築します。作業員などの位置検知など、これまで正確に取得できなかったデータを活用し、鉄道建設工事の安全性向上、生産性向上を目指します。
	実施箇所：首都圏エリア鉄道建設現場
	実施期間：2022年1月～


10. 株式会社レボーン（代表取締役：松岡 広明）

	デジタル嗅覚・解析システムによる「におい」ビジネスの構築 AI とヒトの感覚を融合させた独自の判定技術を活用したニオイの可視化による駅など施設や商業空間のクレンリネス向上および消費行動変化の可能性について検証します。
	実施箇所：海浜幕張駅・ペリエ海浜幕張
	実施期間：2022年2月～


1.1. 株式会社 ARK (代表取締役 CEO : 竹之下 航洋)

	<p>地球共創(SDGs)</p> <p>小型閉鎖循環式陸上養殖による安心安全な究極の地産地消モデルの構築</p> <p>福島県浜通り地区での小型閉鎖循環式による安心安全ゼロエミッションの陸上養殖に挑戦し、地域漁業との連携による地場産業の活性化や、新たな技術を活用した持続可能な水産資源の未来を目指します。</p>
	<p>実施箇所：福島県浜通り地区駅構内隣接用地（予定）</p>
	<p>実施期間：2022年1月～</p>

1.2. 株式会社 PETOKOTO (代表取締役 : 大久保 泰介)

	<p>地球共創(SDGs)</p> <p>動物との幸せな共存を目指す駅を中心としたペットビジネスの展開</p> <p>人が動物と共に生きる社会を創るために、ペットフードの販売やペットツーリズムへの挑戦をはじめとする駅や鉄道を用いたペットビジネスを検証し、飼い主とペットにやさしい新しいペットライフステーションの展開を目指します。</p>
	<p>実施箇所：恵比寿駅ほか、東北エリア</p>
	<p>実施期間：2021年12月～</p>

1.3. 株式会社 Magic Shields (代表取締役 : 下村 明司)

	<p>地球共創(SDGs)</p> <p>知能化新素材による持続可能な高齢社会の実現</p> <p>転んだときだけ柔らかくなる床「ころやわ」で転倒・歩行データを取得し、転倒骨折リスクの軽減とデータ活用を組み合わせた高齢者のADL（日常生活動作）向上および施設スタッフの業務負担軽減が可能な仕組みを検証し、高齢者が自律的に生活できる社会を目指します。</p>
	<p>実施箇所：当社グループ施設（予定）</p>
	<p>実施期間：2022年3月～</p>